

東京 2020 パラリンピック競技大会

ゴールボール キャプテン 川嶋 悠太 選手を招いて

2月17日（木）に、ゴールボール選手として東京パラリンピック競技大会に出場された川嶋悠太選手を招いて、ゴールボール教室を開催しました。

ゴールボールは視覚に障害のある人を対象に考えられた球技で、パラリンピック特有の種目です。1チーム3人の選手が、鈴の入ったボールを転がすように投げ合って、味方ゴールを守りながら、相手ゴールにボールを入れて得点を競う競技です。（日本ゴールボール協会HPより）

生徒たちは、初めて体験する競技に興味をもって取り組みました。アイシェードを装着すると「全然見えない！」「これでどうやって試合をするの」など、驚きの声が多く聞かれました。



講師による説明



アイシェードを装着



ディフェンスの練習



オフENSEの練習



アイシェードを装着せずに試合体験

試合体験は、アイシェードを装着せずに実施しました。目が見える状態では、容易に止めることができたボールも、目を閉じて鈴の音だけを頼りにディフェンスをするとほとんど止めることができませんでした。試合を行った生徒たちからは、「見えない状態でよくボールが止められますね」や「鈴の音だけで反応できるのが凄すぎる」、「次回はアイシェードを装着して本格的な試合をしてみたい」などの声が聞かれました。

世界のトップアスリートから直接指導を受ける機会是这样あるものはないので、生徒たちにとってとても良い経験となりました。次年度以降も体育で取り組んでいきたいと思ひます。